

第5回 「広島市の歴史と文化セミナー」

明治・大正期、広島を元気にした財界人 (2)

講師 田邊 良平

2016年3月23日(水)18:30 - 20:00 定員30名 受講料500円

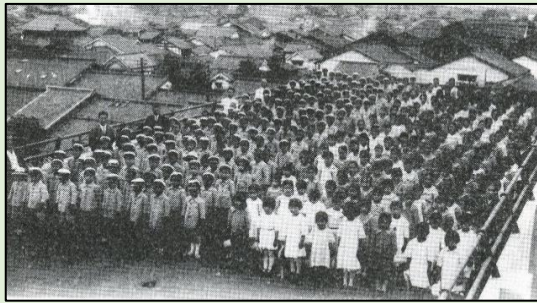


写真:光道学校 屋上に正列の生徒

明治維新のバスに乗り遅れた広島藩は、新政府になって中央で活躍する人物がいませんでした。果たして人材がいなかったのでしょうか? 「神機隊員の活躍」「浅野長勲の功績」などを紹介します。一方、財界人は広島地域の活性化に積極的に取り組んでおり、「保田八十吉」「井東幸七」「海塚新八」らがその先頭に立って、広島を引っ張ってきました。

彼らの活躍振りを今回は紹介します。

広島は、原爆の廃墟から立ち上がり、こんにちの繁栄を見るに至りました。原爆のインパクトが余りに強かったことから、原爆以降が広島の歴史と考えられているようですが、しかし、原爆以前にも広島にはいろいろな歴史があったのです。広島人は案外このことは忘れられているようですから、私は、あえて原爆以前の歴史に焦点をあてて、語り継いでいるのです。

明治維新以降原爆までの広島を知って頂けたら、広島がもっと好きになって頂けるのではないかと存じます。

講師紹介 田邊 良平 (たなべ・りょうへい)

昭和9年11月、広島市出身、金融機関に勤務。退職後、原爆以前の広島の姿を周知してもらうために、歴史・文化・風土などの紹介に務めて来ました。現在、広島の月刊誌「経済春秋」に「広島政財界人物誌」を連載中、2016年3月号で183回となります。比治山の加藤友三郎の銅像復元、二葉あき子の歌碑建設に関わり、目下、江戸時代から原爆以前まで続いた「二葉の里の桜並木」を復活させる活動に取り組んでおり、二葉の里歴史の散歩道のガイドもしています。

受講ご希望の方は、①お名前、②年齢、③連絡先住所をご記入の上、E-MailもしくはFAXにてお申込みください。

コミュニティ・アカデミー上幟

広島市中区上幟町10-15-201 畠田ビル2F

TEL & FAX : 082-225-8103

E-mail : c.a.kaminobori@outlook.jp

